

# 令和5年度環境管理講座

令和5年10月26日(木)

本年度の環境管理講座は、(公社)静岡県産業廃棄物協会、(一社)静岡県環境資源協会との共催により、地球温暖化による気候変動、気温の上昇や災害、生態系への影響と適応策をテーマに、3名の講師による講演を開催しました。

静岡市にある静岡男女共同参画センターあざれあの第1研修室を会場に、36名の会員にご参加いただきました。

|              |       | プログラム   |
|--------------|-------|---|
| 10/26<br>(木) | 13:30 | 開講  |
|              | 13:35 | 第1部<br>「静岡県における気候変動影響と適応について」<br>講師：静岡県環境衛生科学研究所 環境科学部<br>神谷 貴文 氏 |
|              | 14:20 | 第2部<br>「SDGsとESGの国際的流れと日本企業」<br>講師：常葉大学経営学部経営学科<br>准教授 林 信濃 氏     |
|              | 14:55 | 第3部<br>「一適応事例一窓ガラスの遮熱塗装開発」<br>講師：株式会社 丸源竹内組<br>代表取締役社長 竹内 隆介 氏    |



会場の様子

## (1) 「静岡県における気候変動影響と適応について」

講義は、①温暖化のメカニズム、②気候変動対策－緩和と適応－、③脱炭素の現状、④気候変動の現状と将来予測、⑤気候変動影響と適応策の5つの構成で行われました。

まず、①温暖化のメカニズムでは、大気中の二酸化炭素等の温室効果ガスが増えることによる気温上昇のメカニズムと、過去からの気温上昇の現実を確認しました。②気候変動対策－緩和と適応－では、温室効果ガスの排出を抑制する「緩和策」と気候変動の影響に対処する「適応策」の2つ対策により、温暖化対策をしなかった場合、世界の年平均気温は産業革命以前よりも4℃上昇してしまうこと、今後の緩和策と適応策により、気温上昇を2℃以下に抑えることが世界の目標となっていることが分かりました。

③脱炭素の現状では、静岡県の温室効果ガスの削減目標が2030年までに46.6%であること、再生可能エネルギーの導入状況、「企業脱炭素化支援センター」の設置などの話がありました。④気候変動の現状と将来予測では、静岡市、浜松市、三島市、富士山の過去から現在までの年平均気温の変化や猛暑日、熱帯夜、冬日の日数変化を確認するとともに、将来予測として、2090年までの気温上昇が「2.6℃」、「4.5℃」、「8.5℃」の3つのパターンによる県内の気候変動のシミュレーションが示されました。

最後に、⑤気候変動影響と適応策では、このシミュレーションに対処するため、「農林水産業」、「水環境」、「自然災害」等の6つの柱で構成される県の取り組みが紹介されました。



講師：神谷 貴文 氏

## (2) 「SDGsとESGの国際的流れと日本企業」

講義は①最近のトレンド「SDGsとESG」、②TCFDって何？③企業の対応はどうあるべき、の3つの構成で行われました。

まず、①最近のトレンド「SDGsとESG」では、「SDGs」は国連が採択した2030年までに達成すべき17の目標と169のターゲットで、政府、企業、地域、個人が達成すべき目標であるのに対し、「ESG」は企業の経営や成長において重視される要素で、主に経済界や企業が対象であることが説明されました。つまり、SDGsは目標ゴールであり、ESGはそれを達成するための手段・プロセスということです。また、社会価値と経済価値の両方で企業の競争が行われる市場を創るという方向性は同じです。

ESGとは、環境（K）、社会（S）、ガバナンス（G）のそれぞれの領域で企業に対応が求められる項目から由来しています。

次に、②TCFDって何？では、TCFD（気候関連財務デシクロージャータスクフォース）の成り立ちや意義、その普及について説明がありました。現在、我が国では、約400社の企業がTCFDに賛同し、気候変動に対するリスク対応と積極的な経営方針について情報を開示しています。

最後に、③企業の対応はどうあるべきでは、CSRやSDGsに関する企業活動の重要性はもちろん、企業活動における環境へのリスクについて、企業と社会（様々なステークホルダー）の間におけるコミュニケーションを頻繁に行い、情報を共有する必要があるとの説明でした。



### （3） 「一適応事例一窓ガラスの遮熱塗装開発」

浜松市にある総合建設業の株式会社丸源竹内組では、窓ガラスに塗る遮熱塗料を開発し、気候変動に適応したビジネスを展開しています。同社では、ガラス等に塗ることで、光は通すが熱は遮る塗料を開発、施工を行っており、工場などの窓や天窓に施工して、塗装前に比べマイナス8℃を実現し、エアコン稼働の節約が図られているとの説明がありました。また、会場ではサンプルによる遮熱の実演も行われ、参加者が体感を確認していました。

